

解 禁 日 時	ラジオ・テレビ インターネット	令和7年7月31日（木）17:00解禁
	新 聞	令和7年8月 1日（金）朝刊から



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年7月25日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
義務教育課	小中教科教育係	車戸 馬場	内線 8602 直通 058-272-8843 FAX 058-278-2817

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について、下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

記

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象学年（原則として以下の学年の全児童生徒が対象）

- ・ 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・ 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

- ・ 教科(小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科)に関する調査
(中学校理科は、文部科学省C B T (Computer Based Testing) システムによるオンライン方式で実施)
- ・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

(2) 学校に対する調査

- ・ 指導方法に関する取組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

4 調査実施日

令和7年4月17日（木）

(中学校理科は、4月14日（月）～17日（木）のうち1日で実施)

5 岐阜県において調査を実施した学校数・児童生徒数（公立学校）

	市町村(総合)立 小・中学校	市町村立 義務教育学校	県立 特別支援学校	計	対象児童生徒数
小学校調査	334	8	5	347校	約15,620人
中学校調査	167	8	1	176校	約15,692人

- 注) 1 義務教育学校については、前期課程を小学校、後期課程を中学校として計上
 2 県立特別支援学校については、小学部を小学校、中学部を中学校として計上
 3 児童生徒数は調査内容により、参加した人数が異なるため、「約」と表示

Ⅱ 岐阜県における調査結果

1 児童生徒の学力の状況について

(1) 平均正答率（中学校理科は平均 I R T スコアで表示）

- ・ 小学校では、国語、算数、理科ともに、全国平均を下回っている。
- ・ 中学校では、国語は全国平均と同程度であり、数学、理科ともに全国平均を上回っている。

教科	小学校		中学校	
	岐阜県	全国	岐阜県	全国
国語	65	66.8	54	54.3
算数・数学	56	58.0	50	48.3
理科	56	57.1	526	503

注) 1 岐阜県と全国の数値は、有効桁数が違うため、差を算出していない。

2 小学校は国語が全 14 問、算数が全 16 問、理科が全 17 問に対する平均正答率を表示

3 中学校は国語が全 14 問、数学が全 15 問に対する平均正答率を表示

4 中学校理科は、C B T の実施に伴い、I R T (Item Response Theory : 項目反応理論) に基づく結果となっているため、平均正答率ではなく、I R T スコアで表示

5 I R T スコアは各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表示

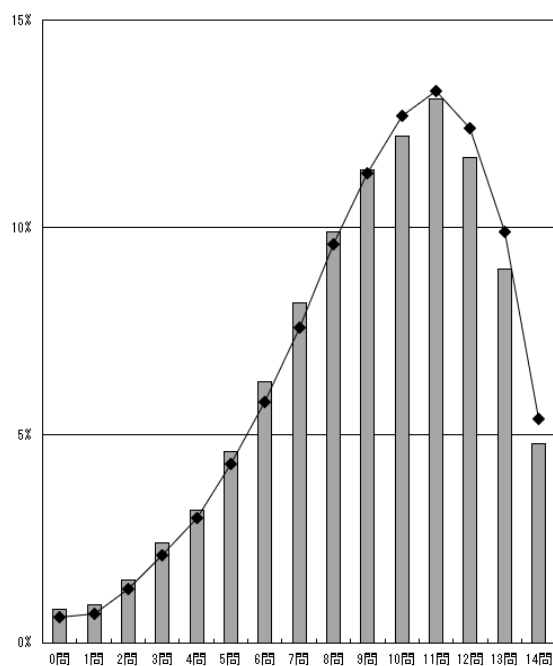
6 中学校理科は、公開問題 10 問と非公開問題 16 問の全 26 問が出題

＜正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）＞（中学校理科以外）

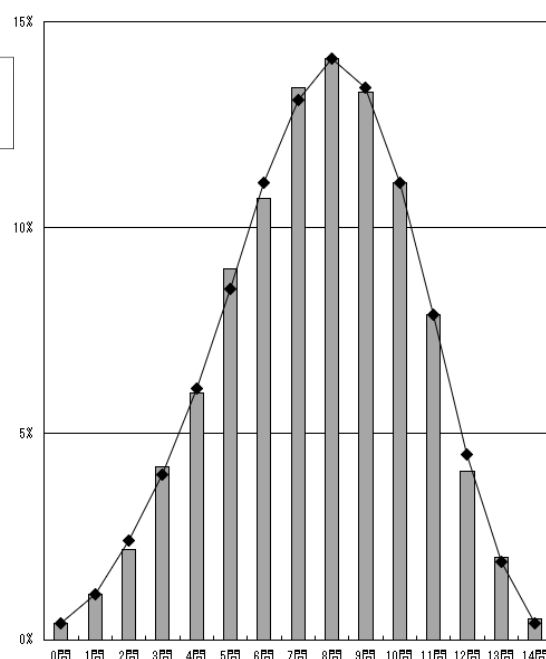
- ・ 小学校では、国語、算数、理科ともに、おおむね全国と同様の分布状況である。
- ・ 中学校では、国語、数学ともに、おおむね全国と同様の分布状況である。

【小学校国語】全国と比較して、上位層が少なく、中位層以下が多い。

【中学校国語】全国と比較して、ほぼ同等であった。



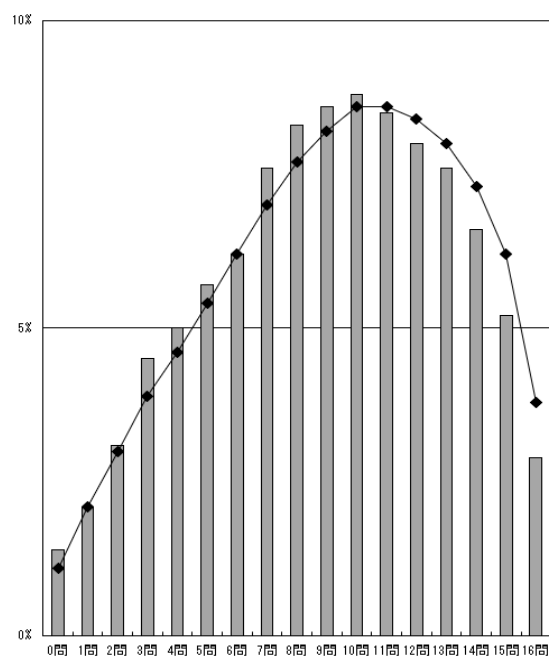
小学校国語



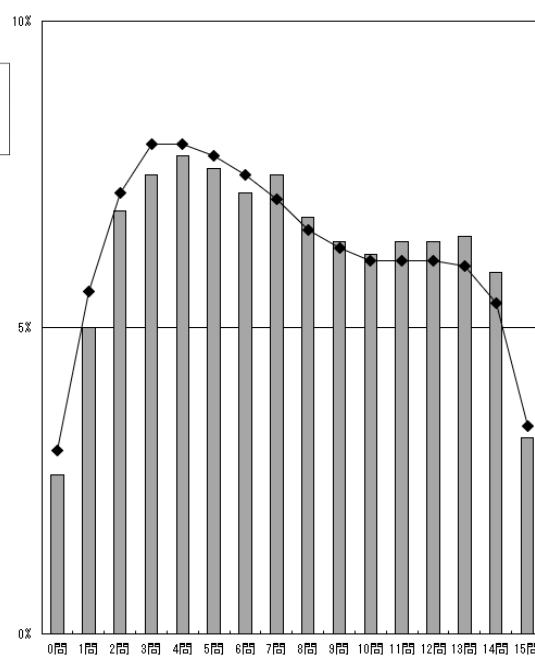
中学校国語

【小学校算数】 全国と比較して、上位層が少なく、中位層以下が多い。

【中学校数学】 全国と比較して、上位層が多く、下位層が少ない。

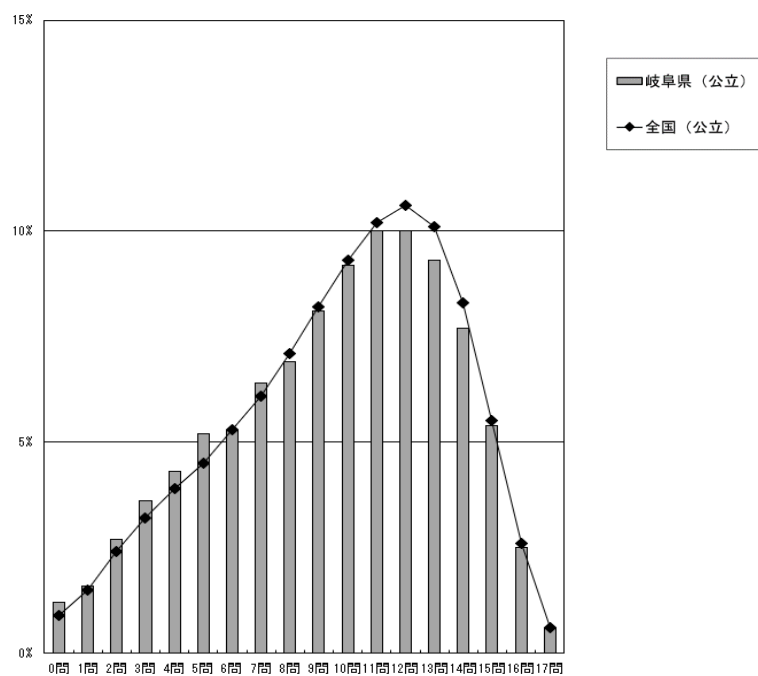


小学校算数



中学校数学

【小学校理科】 全国と比較して、上位層が少なく、中位層以下が多い。

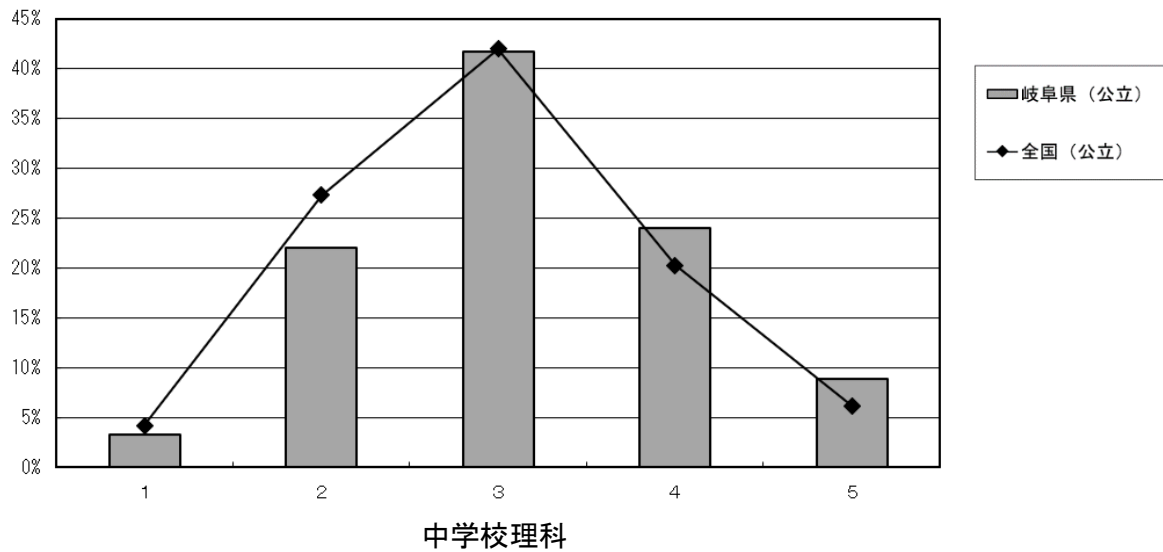


小学校理科

< I R Tバンド分布グラフ（横軸：I R Tバンド 縦軸：割合）>（中学校理科）

- ・ 中学校では、理科において、おおむね全国と同様の分布状況である。

【中学校理科】全国と比較して、上位層が多く、中位層以下が少ない。



- 注) 1 I R Tバンドとは、I R Tスコアを1～5段階に区切ったもので、3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなる。
- 2 I R TバンドをI R Tスコアに換算すると、およそ以下のような対応関係になる見通し

I R Tバンド	1	2	3	4	5
I R Tスコア範囲	～350	350～450	450～550	550～650	650～

(2) 平均正答率の推移

① 小学校第6学年

- 【国語】 平成28年度以降、全国の平均正答率に近い数値で推移していたが、平成31年度から全国の平均正答率を下回っている。
- 【算数】 平成21年度以降、全国の平均正答率を下回る数値で推移している。
- 【理科】 前回の令和4年度は、全国の平均正答率と同程度だったが、今年度は、全国の平均正答率を下回っている。

教科	H31		R3		R4		R5		R6		R7	
	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国語	63	63.8	63	64.7	64	65.6	65	67.2	65	67.7	65	66.8
算数	65	66.6	69	70.2	61	63.2	60	62.5	61	63.4	56	58.0
理科					63	63.3					56	57.1

② 中学校第3学年

- 【国語】 本調査実施当初以降、全国の平均正答率と同程度、またはそれを上回る数値で推移している。
- 【数学】 本調査実施当初以降、全国の平均正答率を上回る数値で推移している。
- 【理科】 前回の令和4年度は、全国の平均正答率を上回っている。今年度は、全国の平均IRTスコアを上回っている。
- 【英語】 平成31年度以降全国の平均正答率を上回る数値で推移している。

教科	H31		R3		R4		R5		R6		R7	
	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国語	75	72.8	65	64.6	70	69.0	71	69.8	60	58.1	54	54.3
数学	61	59.8	59	57.2	53	51.4	53	51.0	54	52.5	50	48.3
理科					52	49.3					526	503
英語	57	56.0					48	45.6				

- 注) 1 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
- 2 令和7年度の中学校理科は、平均IRTスコアで表示
- 3 各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なるため、各教科の正答率について、過年度の結果と単純に比較することは適当ではない。

2 児童生徒の意識について【児童生徒質問調査から】

(1) 学習状況等

- ・ 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む学習や、友達と話し合っ自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする学習について、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 授業が自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じている割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	81.7 (83.3)	80.3 (81.9)	1.4 (1.4)	84.1 (85.7)	77.7 (80.3)	6.4 (5.4)
学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる。	85.1 (86.9)	84.9 (86.3)	0.2 (0.6)	87.9 (88.4)	84.7 (86.1)	3.2 (2.3)
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	77.8 (79.5)	77.8 (79.6)	0 (▲0.1)	76.0 (79.1)	70.6 (75.4)	5.4 (3.7)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	79.7 (81.5)	79.4 (80.8)	0.3 (0.7)	77.1 (80.6)	73.4 (77.9)	3.7 (2.7)
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。	85.0 (86.1)	83.4 (84.3)	1.6 (1.8)	82.4 (83.2)	79.3 (80.9)	3.1 (2.3)
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	87.0 (87.8)	87.4 (87.9)	▲0.4 (▲0.1)	87.3 (87.1)	83.8 (84.9)	3.5 (2.2)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	92.0 (90.5)	92.2 (89.9)	▲0.2 (0.6)	94.5 (92.6)	92.2 (90.4)	2.3 (2.2)
自分には、よいところがあると思う。	86.6 (85.2)	86.9 (84.1)	▲0.3 (1.1)	87.6 (84.5)	86.2 (83.3)	1.4 (1.2)
将来の夢や目標を持っている。	81.9 (81.2)	83.1 (82.4)	▲1.2 (▲1.2)	68.2 (66.8)	67.5 (66.3)	0.7 (0.5)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	81.8 (84.6)	81.3 (83.5)	0.5 (1.1)	78.2 (78.8)	75.3 (76.1)	2.9 (2.7)

注) 1 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)

2 下段()は令和6年度の数値

(2) ICTの活用状況

- ・ 授業でPC・タブレットなどのICT機器を「ほぼ毎日」（1日に複数の授業で活用）使用する割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めたり、分からないことがあった時にすぐ調べたり、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたりすることができるなど、肯定的に考えている児童生徒の割合は、8割～9割である。

質問事項		小学校			中学校		
		岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
5年生までに（中：1、2年生のときに）受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか。	①ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）	32.5	24.5	8.0	51.4	29.5	21.9
	②ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業）	25.4	22.2	3.2	21.7	23.7	▲2.0
	③週3回以上	22.1	25.0	▲2.9	15.2	23.3	▲8.1

注) 1 令和7年度から選択肢が変更となったため、令和6年度との比較は不可

質問事項		小学校			中学校		
		岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。		83.7 (87.5)	81.3 (85.5)	2.4 (2.0)	83.0 (84.1)	— (80.2)	— (3.9)
ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。		90.5 (92.8)	89.2 (92.1)	1.3 (0.7)	95.6 (96.2)	— (93.9)	— (2.3)
ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。		85.8 (85.8)	85.5 (86.0)	0.3 (▲0.2)	89.2 (84.5)	— (82.4)	— (2.1)
画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。		88.8 (90.6)	88.1 (89.8)	0.7 (0.8)	92.2 (91.4)	— (89.0)	— (2.4)
ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。		80.7 (81.6)	77.6 (79.2)	3.1 (2.4)	86.4 (83.0)	— (77.7)	— (5.3)
ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。		87.1 (88.1)	84.6 (86.1)	2.5 (2.0)	90.2 (89.8)	— (86.2)	— (3.6)
ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる。		88.0 (88.1)	87.5 (87.1)	0.5 (1.0)	89.0 (87.6)	— (85.2)	— (2.4)

注) 1 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、5年生まで〔中：1、2年生のとき〕の学習のようすを振り返り、次のことがどれくらい当てはまるか。」という質問に対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した児童生徒の割合(%)

2 下段()は令和6年度の数値

3 中学校については、ランダム方式で実施したため、一部の生徒のみの回答結果であり、全国平均は表示されない。

3 各学校における取組状況について【学校質問調査から】

(1) 学校運営等に関する状況

- ・ 全国学力・学習状況調査の結果等を活用し、教育課程の改善を図るPDCAサイクルを確立している学校は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 各教科等の特質に応じて、言語活動に学校全体として取り組んでいる学校の割合は、中学校において全国平均より高い。
- ・ 児童(生徒)が家庭学習に取り組む際、自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫している学校の割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。
- ・ 学習評価の方針を児童に示した上で、児童(生徒)の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かすことを心がけた学校の割合は、中学校において全国平均より高い。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどにに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	98.8 (97.7)	97.1 (97.0)	1.7 (0.7)	98.3 (98.4)	96.0 (96.5)	2.3 (1.9)
言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる。	94.8 (94.2)	96.3 (96.0)	▲1.5 (▲1.8)	94.9 (95.7)	94.7 (94.2)	0.2 (1.5)
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習について、児童(生徒)が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行う。	94.2 (92.8)	90.6 (89.7)	3.6 (3.1)	88.7 (88.6)	85.9 (84.0)	2.8 (4.6)
調査対象学年の児童(生徒)に対する指導に関して、前年度までに、学習評価の方針を児童(生徒)に示した上で、児童(生徒)の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かすことを心がけた。	89.3	89.5	▲0.2	96.6	95.8	0.8

注) 1 「よくしている・そう思う・よく行った」「どちらかといえば、している・どちらかといえば、そう思う・どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合(%)

2 下段()は令和6年度の数値

3 下段()がないものは令和6年度は実施なし

(2) ICTの活用状況

- ・ 大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を授業で「ほぼ毎日」活用している割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ PC・タブレットなどのICT機器を授業で「ほぼ毎日」（1日に複数の授業で活用）活用している割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ ICT機器を不登校児童生徒に対する学習活動等の支援に活用する割合は、中学校において全国平均より高い。
- ・ ICT機器を特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援に活用する割合は、小・中学校ともに、全国平均より低い。
- ・ ICT機器を外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に活用する割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。

質問事項		小学校			中学校		
		岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
前年度に、大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったか。	①ほぼ毎日	89.9 (91.6)	81.2 (76.0)	8.7 (15.6)	85.8 (86.4)	76.8 (74.6)	9.0 (11.8)
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業でどの程度活用したか。	①ほぼ毎日 （1日に複数の授業で活用）	70.0	61.0	9.0	78.4	63.7	14.7
	②ほぼ毎日 （1日に1回くらいの授業）	17.0	23.8	▲6.8	12.5	19.1	▲6.6

注) 1 下段（ ）は令和6年度の数値

2 下段（ ）がないものは令和6年度の実施はなし

質問事項		小学校			中学校		
		岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
不登校児童（生徒）に対する学習活動等の支援		30.3 (37.0)	36.9 (38.8)	▲6.6 (▲1.8)	61.4 (53.3)	53.5 (52.9)	7.9 (0.4)
特別な支援を要する児童（生徒）に対する学習活動等の支援		63.1 (60.9)	65.4 (63.5)	▲2.3 (▲2.6)	62.0 (66.2)	62.3 (63.0)	▲0.3 (3.2)
外国人生徒に対する学習活動等の支援		27.2 (24.7)	25.0 (20.3)	2.2 (4.4)	31.2 (32.7)	24.9 (21.8)	6.3 (10.9)

注) 1 「児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、上記の用途でどの程度使用しているか。」という質問に対して「ほぼ毎日・週3回以上・週1回以上」と回答した学校の割合（%）

2 下段（ ）は令和6年度の数値

Ⅲ 本調査結果を踏まえた岐阜県教育委員会の取組み

- 本県の課題を踏まえた「指導改善資料」を作成し、各市町村教育委員会を通じて、小・中学校、義務教育学校、特別支援学校に配付する。また、地区ごとに「学力向上・指導改善推進会議」を開催して、調査実施学年以外の学年や調査実施教科以外の教科等を含めた幅広い観点から取り組むべき課題や、その改善に向けた取組みについて検討することができるようにする。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るために、指導主事会や学校訪問等を通して、指導改善の方法やＩＣＴの効果的な活用等について指導助言を行う。
- 令和５年度から取り組んでいる「『指導と評価の一体化』による学習評価の充実・推進事業」における各地区リーディング・スクールの実践研究を引き続き支援し、単元を見通した「指導と評価」の計画の立案、根拠に基づく、妥当性・信頼性のある学習評価の在り方等について、教育課程研究協議会や実践報告会等で県内にさらに周知し指導改善を促す。

教育長コメント

県教育委員会では、「未来を創る確かな学力」の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導改善を図ることで、小・中学校ともに、課題の解決に向けて、自分で考える児童生徒の割合等が、より高い状況となっています。

今後は、教育データの利活用や指導と評価の一体化をさらに推進し、児童生徒一人一人の学習状況を的確に把握し、きめ細かな指導・支援を一層充実するとともに、児童生徒の自己肯定感を育てる取組みを通して、児童生徒が将来の夢や目標を持って挑戦する力を伸ばしていきたいと考えております。

教科に関する調査問題（例）と結果

1 よくできていた問題及び課題がみられた問題の例

(1) 国語

① よくできていた問題の例

令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 2二

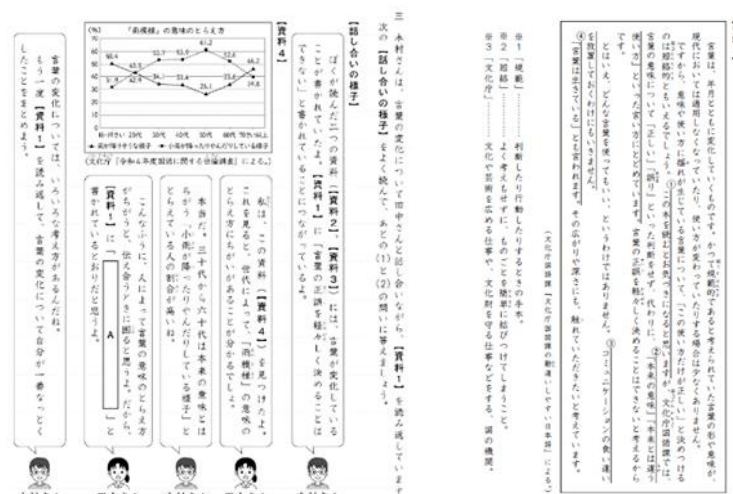
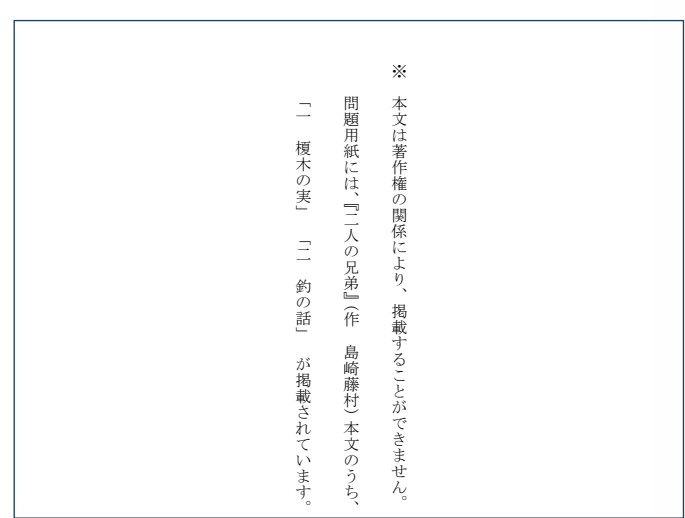
令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 12

	問題の概要	正答率
小学校国語2二	○ 図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。 物を含む使い方 手ぬぐいば、いろいろな物を含むことができます。 物を含む使い方 手ぬぐいば、いろいろな物を含むことができます。 【例べたこと】 (本を読んで学んだこと) ○ブックカバー ・何冊か読んだだけで、すぐに完成する。 ・本の大きさに合わせて巻くことができる。 ○ベットの折りたたみカバー ・ベッドが汚れるのを防ぐことができる。 ・洗った後、乾かすのが楽にできた。 (使ってみて学んだこと) ○ブックカバー ・よれがつかないように、裏面に紙を貼る。 ・落とさないように、裏面に紙を貼る。 ○ベットの折りたたみカバー ・裏面に紙を貼る。 ・洗った後、乾かすのが楽にできた。 【手ぬぐい】 手ぬぐい 手ぬぐいには、いろいろな物を含むことができます。 山田さんは、【 】の中で、手ぬぐいのもようについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 1 言葉に関係のない図を示すことで、別のものについての興味を高めるため。 2 二つの図を並ならべて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。 3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。 4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。	岐阜県 80.7% 全国 81.8% 全国差 -1.1
中学校国語1二	○ 目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。 【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】 第一中学校 ホーム 学校紹介 行事予定 学校生活 保護者の方へ 行事のご案内 更新日 令和7年10月3日 美術展の開催のお知らせ 秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご来校と存じますが、生徒たちの力作をご覧いただけます。ご来校お待ちしております。 ◆開催日時 令和7年11月15日（土） 10時～16時 ◆開催場所 第一中学校 体育館 【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】 第一中学校 美術展 毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。 私たちが美術展の時間につくった作品を展示します。どれも思い入れのある作品です。 今年は、中学3年生による作品の展示や小学生向けの体験コーナーもあります。 体験コーナーでは、中学3年生と一緒に、好きな色のペンを塗って自分だけのペン画をつくることができます。 日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時 場 所 第一中学校 体育館 会場 第一中学校 体育館 受付 1年生の作品（絵画） 2年生の作品（ポスター） 体験コーナー（ペン画づくり） 3年生の作品（絵画） 体験できる時間（各約30分） ●10時～ ●11時～ ●12時～ ●13時～ 中井さんは、【 】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため。 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。	岐阜県 81.7% 全国 82.5% 全国差 -0.8

② 課題がみられた問題の例

■令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 3三(1)

■令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 3四

	問題の概要	正答率
小学校 国語 3三 (1)	○ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。  【話し合いの様子】のAに当てはまる内容として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 1【資料1】の——部① 2【資料1】の——部② 3【資料1】の——部③ 4【資料1】の——部④	岐阜県 39.3% 全 国 40.8% 全国差 -1.5
中学校 国語 3四	○ 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。  ※ 本文は著作権の関係により、掲載することができません。 問題用紙には、『二人の兄弟』作 島崎藤村 本文のうち、 「一 榎木の実」「二 釣の話」が掲載されています。 【 】で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のあとに続く話がかかれています。あとに続く話は、「一 榎木の実」にはありますが、「二 釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。 なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。	岐阜県 16.8% 全 国 17.1% 全国差 -0.3

(2) 算数・数学

① よくできていた問題の例

■ 令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 2(3)

■ 令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 7(1)

問題の概要	正答率
小学校 算数 2(3) ○ 角の大きさについて理解しているかどうかみる。 わかなさんは、図1の㉞の角と図2の㉟の角の大きさを比べています。図2の㉟の角をつくっている2つの辺は、図1の㉞の角の2つの辺をそれぞれのばしたものです。 図2 図1 ㉞の角と㉟の角の大きさについて、どのようなことがわかりますか。 下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。 ア ㉞の角の大きさのほうが大きい。 イ ㉟の角の大きさのほうが大きい。 ウ ㉞の角と㉟の角の大きさは等しい。 エ ㉞の角と㉟の角の大きさがわからないので、このままでは比べることができない。	岐阜県 80.3% 全 国 79.3% 全国差 +1.0
中学校 数学 7(1) ○ 必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる。 7 優斗さんと芽依さんは、地域のイベントで「じゃんけんカードゲーム」を行うことを計画しました。そこで、表に「グー」、「チョキ」、「パー」の絵がかかれたカードをそれぞれ同じ枚数ずつたくさん準備しました。これらのカードを裏にすると、表の「グー」、「チョキ」、「パー」の絵はわかりません。 二人は、これらのカードを使ったゲームの進め方を、次のように考えました。 進め方 ① 準備したすべてのカードを裏にしてよく混ぜ、裏にしたまま、対戦するAとBの手元にそれぞれ3枚ずつ並べる。 ② AとBは、手元のカードのいずれか1枚を同時に表にする。じゃんけんのルールをもとに勝敗を決め、負けた人は勝った人に表にしたカードを渡す。これを1回目とする。 例 ただし、あいこのときはカードの受け渡しをせず、1回目を終了する。 ③ 1回目終了後、自分手元のカードを、すべて裏にしてよく混ぜてから並べ、②と同様に2回目を行う。 ④ 2回目終了後、手元のカードの枚数に応じて景品をもらう。 優斗さんと芽依さんは、前ページの進め方でゲームを行うときのAとBのそれぞれの勝ちやすさについて調べることにしました。 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。ただし、手元のカードのいずれか1枚を表にすると、どのカードを表にすることも同様に確からしいものとします。 (1) 優斗さんと芽依さんは、前ページの進め方で、右の図のようにAとBのそれぞれの手元のカードが同じ絵のカードになる場合があることに気づきました。 Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」で1回目を行うとき、次のことがいえます。 1回目は必ずAが勝つから、1回目にAが勝つ確率は である。 上の に当てはまる数を書きなさい。	岐阜県 78.2% 全 国 77.4% 全国差 +0.8

② 課題がみられた問題の例

■令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 3(2)

■令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 6(2)

	問題の概要	正答率
小学校 算数 3(2)	○ 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。 (2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。 まず、みおりさんは、$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。  $\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、$\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、$\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。 次に、ひろとさんは、$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。  $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、$\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。 もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。 もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、$\frac{3}{4}$ はその数の何個分、$\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。	岐阜県 22.7% 全 国 23.0% 全国差 -0.3
中学校 数学 6(2)	○ 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。 6 結菜さんと太一さんは、3、6や12、15のような連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べるために、次の計算をしました。 (2) 連続する2つの3の倍数の和は、9の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。 そこで、二人は、n を整数として、連続する2つの3の倍数を $3n$、$3n + 3$ と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。 結菜さんの式の変形 $\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 3(2n + 1) \end{aligned}$ 太一さんの式の変形 $\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$ 結菜さんの式の変形の $3(2n + 1)$ から、「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数である」ことがわかります。 太一さんの式の変形の $2(3n + 1) + 1$ から、連続する2つの3の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「<u> </u>は、……である。」という形で書きなさい。	岐阜県 26.2% 全 国 25.7% 全国差 +0.5

(3) 理科

① よくできていた問題の例

■ 令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 理科 1(1)

■ 令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 理科 1(6)

問題の概要		正答率												
小学校 理科 1(1)	○ 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかをみる。 1 としやさんとあかりさんは、学校の花だんに入れた、赤玉土という土を見て、気づいたことを話しています。 赤玉土のようす つぶの大きさを分けた赤玉土 大きいつぶ 約16mm 中くらいのつぶ 約11mm 小さいつぶ 約6mm 赤玉土のつぶの大きさは、いろいろあるね。 「水のしみこみ方は、土のつぶの大きさによってちがいがあある」ということを学習したけれど、赤玉土でも同じなのかな。水がしみこむ時間で比べてみよう。 あかりさんたちは、次のような【問題】を調べることにしました。 【問題】 水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがああるのだろうか。 あかりさんたちは【問題】を、大きいつぶと小さいつぶの赤玉土で確かめる【方法】について考えました。 【方法】 ① どうもなプラスチックでできた2つの同じコップに次のことをする。 ・4つの穴を同じようにあける。 ・同じ高さの線を引くように引く。 これらを穴あきのコップA、Bとする。 ② 土をふくろから取り出し、次のように入れる。 ・コップAは大きいつぶの赤玉土 ・コップBは小さいつぶの赤玉土 ③ コップAに水をすばやく入れ、時間をはかり始め、水の面が同じ高さの線に下がるまでの時間をはかる。コップBも同じようにして時間をはかる。 ④ 受け皿にたまった水、コップの土や水をすべて出し、②と③を全部で3回行う。 上の【方法】で、コップAの条件を下の通りにしたとき、コップBの条件（赤玉土の量と水の量）は、どのようにすればよいでしょうか。 下の（ア）と（イ）の中にあてはまる数字を書きましょう。 <table><thead><tr><th></th><th>つぶの大きさ</th><th>赤玉土の量</th><th>水の量</th></tr></thead><tbody><tr><td>コップAの条件</td><td>大きい</td><td>300 mL</td><td>250 mL</td></tr><tr><td>コップBの条件</td><td>小さい</td><td>（ア） mL</td><td>（イ） mL</td></tr></tbody></table>		つぶの大きさ	赤玉土の量	水の量	コップAの条件	大きい	300 mL	250 mL	コップBの条件	小さい	（ア） mL	（イ） mL	岐阜県 80.1% 全国 79.5% 全国差 +0.6
		つぶの大きさ	赤玉土の量	水の量										
コップAの条件	大きい	300 mL	250 mL											
コップBの条件	小さい	（ア） mL	（イ） mL											
中学校 理科 1(6)	○ 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる。 探究を振り返る 水道水、精製水について探究したことを発表しています。 水道水について ・河川の水などを顕微鏡で観察すると、いろいろな生物がいるので、安全に飲むための工夫をしている。 ・河川の水などを浄水施設でろ過し、塩素を注入したものを水道水として利用している。 精製水について ・理科の実験で使用する精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりしてつくり、販売されている。 ・精製水とミネラルウォーターとの違いは何かを現在調べている。 探究を通じて、さらに疑問に感じたことに着目して振り返ります。 探究を通じて、はじめての考えから考えが変化したことに着目して振り返ります。 探究を通じて、身近な生活とのつながりを感じたことに着目して振り返ります。 Bさん: …水について、…ということが分かり、…についてさらに疑問を感じたので… Cさん: 最初は…と思っていましたが、…という考えに変わりました。 Dさん: …ので、身近な生活とのつながりがあることが分かりました。 上の発表を見て、水道水や精製水に対し、Bさん、Cさん、Dさんを参考にし、あなたの振り返りを書きなさい。	岐阜県 83.3% 全国 79.4% 全国差 +3.9												

② 課題がみられた問題の例

■令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 理科 3(4)

■令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 理科 8(2)

問題の概要	正答率
○ レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる。 たかひろさんたちは、インゲンマメの発芽の条件について調べたことを思い出し、次のように、ヘチマの発芽について調べることにしました。 【問題】ヘチマの種子は、どのような条件で発芽するのだろうか。 【予想】インゲンマメの種子と同じように、水、空気、適した温度（室温）といった条件で発芽すると思う。 【方法①】水が必要か調べる。 （条件） ・水あり ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし （条件） ・水なし ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし 【方法②】空気が必要か調べる。 （条件） ・水あり ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし （条件） ・水あり ・空気なし（種子が空気にふれていない） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし 【方法③】適した温度（室温）が必要か調べる。 ケ コ たかひろさんたちは、実験の結果から、ヘチマの種子も、水、空気、適した温度といった条件が必要だったよ。 たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。 レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。 たかひろさんが行った実験 （条件） ・水あり ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし 水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の《条件》の中から1つ選んで調べてみたい。 てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。	岐阜県 28.1% 全国 29.9% 全国差 -1.8
○ 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる。 自分の足元にある地層を調べることで、自分の地域についていろいろなことが分かるのですね。 地層のボーリング調査のモデルから、分かることを考えましょう。図1は、Aさんの住んでいる地域について、等間隔にボーリング調査をした4つの地点です。現在、この地域は標高差がなく、平らな地域です。かつては地層が西から東に下がるように傾いていた地域でした。 図2はボーリング地点①、②、④の結果です。この結果から、 の地層は、『 は地表面の下に存在する・同じ厚さである・ボーリング地点②と③の間に断層が一つある』と考えました。 Aさんの下線部の考えが正しいなら、ボーリング地点③の結果が予想できますね。 ボーリング地点③の結果は、どのようなになっているのかな。 下線部の考えが正しいと言うためには、ボーリング地点③のボーリングの結果がどのようになればよいか。 を必要な数だけ適切な位置に移動させ、最も適切なボーリング地点③の結果を示しなさい。 【ボーリング調査の結果】 ボーリング地点① ボーリング地点② ボーリング地点④ 図2 ボーリング調査の結果 ボーリング地点③	岐阜県 17.7% 全国 18.1% 全国差 -0.4

(1) 国語

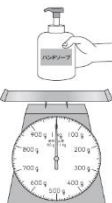
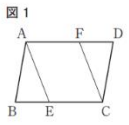
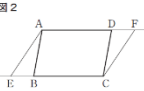
令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 4二

- 17 -

(2) 算数・数学

令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 4(2)

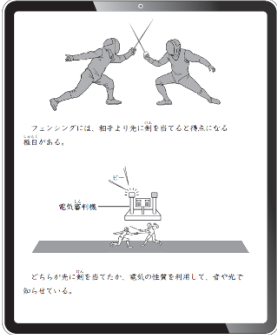
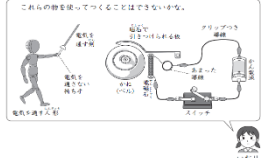
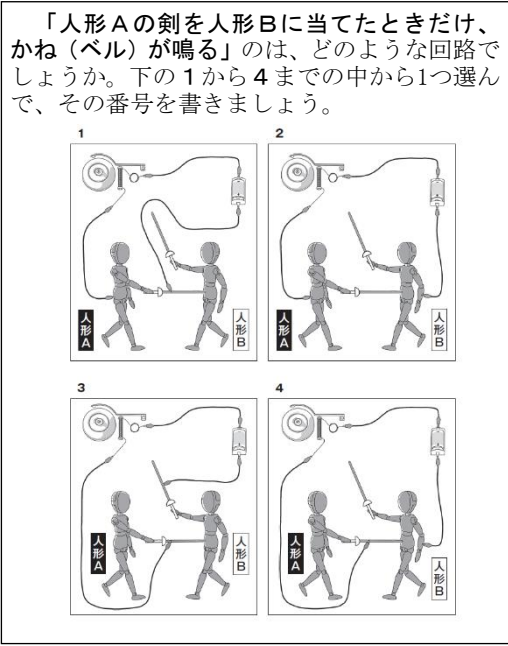
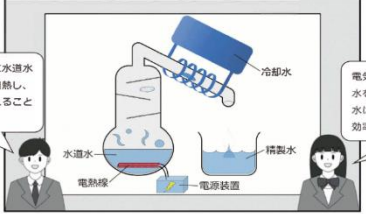
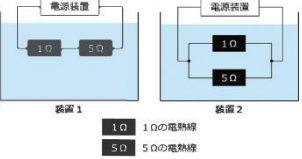
令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 9(2)

問題の概要		正答率
小学校 算数 4(2)	○ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。 4 保健委員のあさひさんたちは、手を洗うときに使っているハンドソープについて話し合っています。  あさひ ハンドソープを空になるまで使ったら、何プッシュすることができるのかを知りたいです。 「プッシュとは、容器の先端を下までしっかり1回おすことです。1プッシュしたとき、ハンドソープの液体が等量同じ量ずつ出ることになります。」  ② 学校の新しい場に、別の容器に入っている使いかけのハンドソープがあります。 次に、あさひさんたちは、そのハンドソープを空になるまで使ったら、あと何プッシュすることができるのかを考えています。  あさひ 新品だったハンドソープの液体が何回入っているのかは、はっきりわかるけれど、使いかけのハンドソープの液体が何回入っているのかは、すぐにはわかりません。 かんた ハンドソープの液体の重さをはかって調べられないでしょうか。  このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは270 gでした。使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、270 gの他に何がわかればよいですか。 下のアからエまでのの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。また、その2つと270 gを使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。 ア 新品のハンドソープの重さ 360 g イ ハンドソープの容器の重さ 60 g ウ 1 プッシュ分のハンドソープの液体の重さ 3 g エ かんたさんが1日に手を洗う回数の平均 7回	岐阜県 45.6% 全国 48.7% 全国差 -3.1
中学校 数学 9(2)	○ 統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる。 9 右の図1のように、平行四辺形ABCDの辺BC、DA上に、BE = DFとなる点E、Fをそれぞれとります。 このとき、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、次のように証明できます。 証明1 平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、 AD // BC よって、AF // EC① 平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、 AD = BC② 仮定より、 DF = BE③ ②、③より、 AD - DF = BC - BE④ ④より、 AF = EC⑤ ①、⑤より、 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、 四角形AECFは平行四辺形である。  次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、BE = DFとなる点E、Fをそれぞれとって、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から1つ選び、正しく書き直しなさい。  ア 平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、 AD // BC よって、AF // EC① イ 平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、 AD = BC② ウ 仮定より、 DF = BE③ エ ②、③より、 AD - DF = BC - BE④ オ ④より、 AF = EC⑤ ①、⑤より、 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、 四角形AECFは平行四辺形である。	岐阜県 39.4% 全国 36.3% 全国差 +3.1

(3) 理科

令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 理科 2(2)

令和7年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 理科 1(1)

問題の概要	正答率
○ 電気の回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる。 2 てつやさんといかりさんは、ファンシングについて調べています。  ファンシングには、動きより先に剣を当てるポイントになる場所がある。 電気の仕組み どちらが先に剣を当てるか、電気の性質を利用して、きやんが知らせている。 てつやさんといかりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、ファンシングの仕組みをもっとよく表現したいと考えています。 自分の剣を 相手とぶつかる 瞬間（ベル）が鳴り ポイントを知る ようにしたい。 これらの物を使ってつくることはできないかな。  電気を流す回路 電気が流れる 電気が流れる 電気が流れる 電気を流す回路で電気が流れる仕組みを、 アールとユウ、は、実際に試してみようかな。 いかり 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、 かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路で しょうか。下の1から4までのの中から1つ選ん で、その番号を書きましょう。 	岐阜県 42.3% 全 国 42.9% 全国差 -0.6
○ 電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。 1 理科の実験で使用する水について考える 理科の実験で使用する水は精製水です。精製水について、調べたことを発表しましょう。 精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりすることによってつくった水です。  精製水は、右図のように水道水に電熱線を入れて水を加熱し、蒸留する方法でつくられることが多いです。 電気のエネルギーを利用して水を加熱しているんですね。水は温まりにくいから、効率よく温める工夫が必要ですね。 より早く水を温めるには、電熱線をどのようにつけたらよいでしょうか。右の装置で考えてみましょう。 同じ電圧を加えたとき、回路全体の抵抗がどうなるかを考えれば分かりそうです。  装置1 10 10の電熱線 50 50の電熱線 装置2 10 10の電熱線 50 50の電熱線 回路全体の抵抗が大きいの装置1、装置2のどちらか、1つ選びなさい。また、下線部について、同じ電圧を加えて、より速く水を温めることができるのは装置1、装置2のどちらか、1つ選びなさい。	岐阜県 53.8% 全 国 51.9% 全国差 1.9